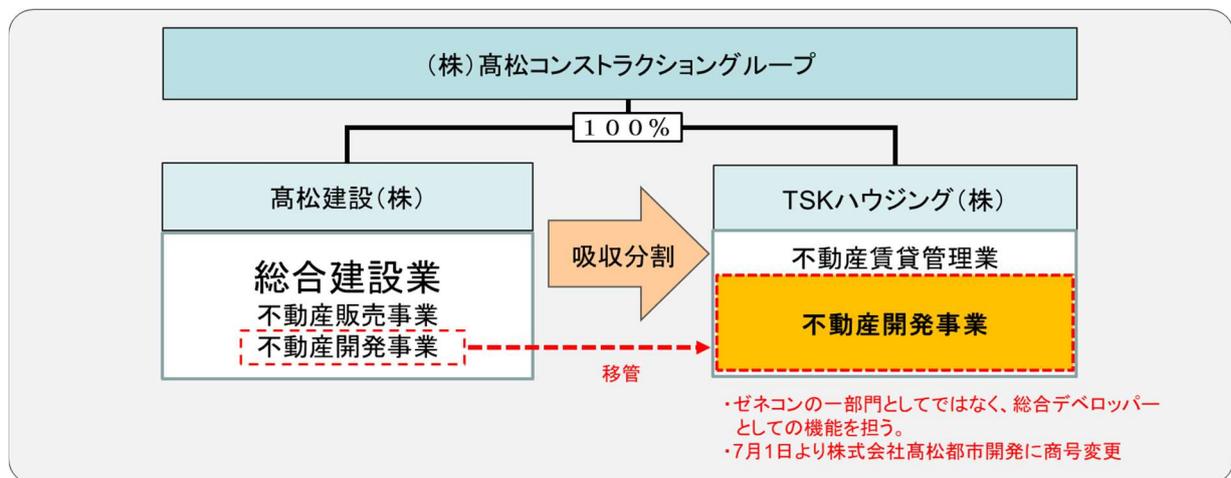


## 株式会社高松コンストラクショングループの「事業再編計画」のポイント

当該計画では、高松建設株式会社から国内に保有する開発用不動産及び不動産開発事業をTSKハウジング株式会社へ移管することで、ゼネコンの一部門としてではなく、総合デベロッパーとしてグループの不動産事業の価値最大化を担う。その一環として、不動産開発事業を本格化し、従来の共同住宅にとどまらず、商業施設、ホテル、高級レジデンスなど多様な分野へと事業領域を拡大するとともに、生活支援機能を包括的に備えた高付加価値型のサービス付き住宅を新規事業として展開することで、生産性の向上と収益力の強化を目指す。



### 【生産性の向上】

- ・従業員1人あたりの付加価値額を9%以上向上させる。

### 【財務の健全性】

- ・有利子負債／キャッシュフロー ▲15.3倍
- ・経常収支比率 101.8%

### 【新商品・新サービスの開発・生産・提供】

- ・新規事業の売上高を計画最終年度（令和10年3月期）において、TSKハウジング(株)の全売上高の5.2%以上とする。

### 【計画の実施時期】

- ・令和7年7月～令和10年3月